

つないでいきます、これからも。



橋の向こうには何がありますか？

行きたかった場所だけでなく、

そこにはきっと出会い、人々の笑顔、幸せもあるはず。

橋は知らない世界、まだ見ぬ光をつなぎます。

杉山設計事務所は、橋の設計・社会貢献活動を通じて、これからも街や人を橋渡しします。

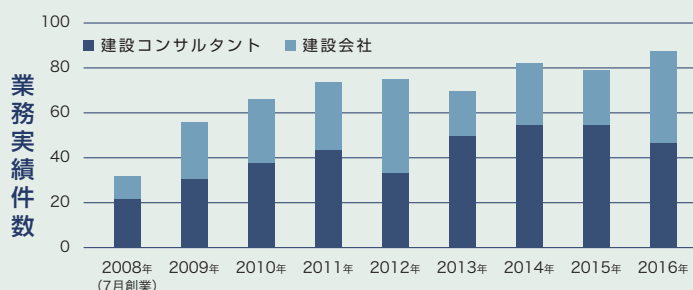
杉山設計事務所

CSR活動報告書

●創業10年目を迎えて

おかげさまで杉山設計事務所は、2017年7月1日に創業10年目を迎えることができました。これも弊所に関わる皆様の格別なるご理解とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

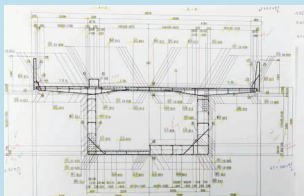
弊所では、創業以来、業務実績を重ね、増え続けるニーズに応え続けてきました。また社会のお役に立ち、信頼される企業となるためにCSR活動にも力を入れてまいりました。この度、これまでの活動をまとめてご報告することで、今後より一層、ステークホルダーの皆様との絆を育み、社会とともに持続的な成長を目指してまいります。皆様の事業パートナーに相応しい価値をご提供できるよう、日々精進してまいります。これからも倍旧のご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



私たちのCSR活動

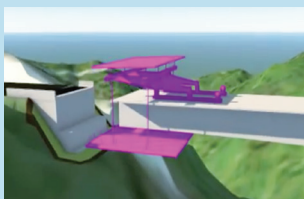
弊所では、「お客様」「地域社会」「従業員」から愛される経営を実現するためにCSR活動に力を入れています。

お客様のために



成果品の品質管理 向上への取り組み

創業当初から納品前に「成果品の赤黄チェック」を実施し、品質確保に取り組んでおります。また、お客様との円滑なコミュニケーション、迅速・適切な対応、適切な資料作成を実践しております。社外講習会・現場見学会にも積極的に参加し、技術力の向上に努めています。



お客様への情報提供

生産性向上に資する取組み「CIM、i-Construction」を導入し、事例を弊所のホームページに公開しています。2017年6月に橋梁保全に関する技術説明会を開催。皆様とのコミュニケーションを大切にしています。



従業員のために



CSR勉強会の実施

NPO法人Mブリッジ様によるCSR勉強会を実施し、CSRの社内浸透に努めています。[新]CSR検定試験に全員合格しました。

働きやすい環境づくり

弊所の大半は女性従業員です。誰もが健康で働きがいのある職場づくり、女性が活躍できる環境を整えています。（詳細は次頁）

地域社会のために



FC岐阜ボールパーソン FC岐阜運営ボランティア

クラブ理念「子どもたちに夢を!!」に賛同し、FC岐阜を応援しています。（詳細は次頁）

シンポジウムへの協賛

東海構造研究グループ (SGST) 主催の「中部地方の橋をどう守るかを考えるシンポジウム」に広告協賛しました。

プロボノ

大学での非常勤講師、大学生による模型橋梁の架設競技「ジャパンスチールブリッジコンペティション (JSBC) 2013」の審査員



中学生・高校生の インターンシップ

教育を専門とするNPO法人アスクネット様より、インターンシップの受入れを実施しています。建設業の明るい未来を伝えています。（詳細は次頁）



まんまる笑店 恩田聖敬さんとの交流会実施

難病ALSと闘い続けながら、講演・執筆活動を主とした新会社を設立する際、応援団として支援し、事前交流会を実施しました。

スポーツを通して、活気ある地域づくりを



FC岐阜 ボールパーソンの取り組み

2014年よりFC岐阜のスパ
ンサーとなり、ボールパーソン
（※1）の体験を企画してい
ます。2016年までの3年間
で取引様を中心に小学生から
大人まで延べ158人の方に
ご参加いただきました。

FC岐阜の応援は、岐阜に
縁のある代表がスポーツを通
して地域に貢献できればとい
う思いからです。ご参加いた
だいた方からは、「選手たちを
間近に見ることができた」「
親子での参加がよい体験にな
った」などの声をいただきました。
仕事でインフラ整備に携わること
からも、このように魅力ある地

域や人に接することで視野が
広がり、まちづくりについて
改めて考える機会にもなっ
ています。

またFC岐阜との関わりを通
じて岐阜県内の企業の皆様と
のご縁もいただき、仕事以外
の場でのコミュニケーション
も広がりました。

今年度も募集いたしますの
で、ご興味のある方は、ぜひ
お問い合わせください。

（T.M、K.H）

※1：ボールパーソンとは
試合中、フィールド外に出たボール
を拾い、選手に渡す役割のことです。



(C) Kaz Photography/FC GIFU

地域社会と関わりが深い
CSR活動をご紹介します。



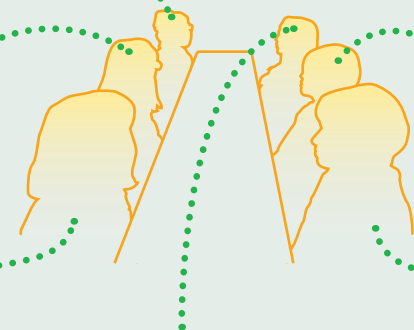
FC岐阜 運営ボランティアの取り組み

FC岐阜の試合運営ボランティアに全従業員が参加し、スポーツを通じ
た地域活性化に貢献しています。参加した従業員の声をご紹介します。

平日作業だったこともあり、年配の方
が多く活動されていました。「FC岐阜
を応援する」という共通目的から自然
とコミュニティが生まれ、皆さん活
き活きと、楽しそうに作業されていま
した。地域にサッカークラブがあるのは
よいことだな、と思いました。（T.A）

地域の方ともコミュニケーションを取
りながら活動できて、楽しかったです。
自分の好きなクラブチームの試合にボ
ランティアに関わることで、ますます
愛着が湧くというよい循環が生まれ
ていました。（F.S）

ボランティアに訪れる度に、イベント
を支えるたくさんの人の存在を実感し
ます。地域での人間関係が希薄にな
っている現代ですが、このような活動
を通して人と人とのつながりが生まれ、
地域に根付いていくのは社会的にも
よいことだなあ、と思いました。（T.M）



試合前日に来場者に配るチラシの袋詰
め作業をしました。ボランティアの皆
さんのFC岐阜を応援する熱い思いに
触れ、手際の良さに圧倒されつつ、少
しでもお役に立ちたいと頑張りました。
いつもの仕事と違う作業を職場の皆で
取り組むことも新鮮でした。（T.Y）

普段の仕事では接することのない、幅
広い年齢層・職業の方に出会い、よい
刺激になりました。ボランティアは「奉
仕」というイメージがあったのですが、
「自主的」「楽しい」というイメージ
に変わりました。（K.H）

試合当日は悪天候にも関わらず、ボ
ランティアの方たちが笑顔でテキパキ
と動かれていたのが印象的でした。好
きなことに携わった活動なので、みな
さん楽しそうで笑顔が絶えないんだ
と思いました。（H.M）



若者と社会をつなぐために 私たちができる小さな後押し 『もうひとつのはしづくり』

中学生・高校生のインターンシップの取り組み

未来を担う子供たちに、働くこと
への興味を持ってもらい、将来の目
標や夢を育むという観点から、中
学生・高校生を対象に、設計の仕
事を知ってもらう機会を設けていま
す。

中学生には、2015年より年1回、
10人程度の少人数でインタビュー
学習を行っています。生徒達の質
問に答え、橋桁の模型を使用して強
度の増す仕組みを生徒の前で実演
し、ものづくりの難しさや大変さ、
楽しさを理解してもらいました。「も

のづくりにはたくさんの人が関わっ
ていることを知った」「橋について
興味がわいた」という感想をいた
だきました。

高校生には、3日間の職業体験を
実施し、CAD体験や現場見学等、
幅広く体験してもらいました。その
後、参加高校生に弊社のロゴマーク
案を作成してもらったり、職業選
択の相談にのったりと、よいお付き
合いができました。

（T.A、F.S）

弊所でのインターンシップ体験の感想はアスバシ教育基金のHPをご覧ください。
<http://asubashi.jp/result/>



ワークライフバランスを第一に、 女性が働きやすい職場

働きやすい環境づくりの取り組み

全従業員がワークライフバランス
を実現するために、働きやすい職場
環境づくりに努めています。特に有
給休暇100% 消化、フレックス
タイム制度の導入などに創業当初から
力を入れてきました。また、2017年2
月にスタートしたプレミアムフライ
デーを導入し、従業員がそれぞれ時
間を上手く管理することで、充実
した生活、メリハリのある仕事で
できる環境が整っています。

従業員は全員女性なので、お互い
に声をかけあうなど『目配り・気配
り・心配り』を心がけ、フォローし
合って仕事を進めることができ
ています。

（H.M、T.Y）

【従業員の声1】

なるべく有給休暇は取らないとい
う私の考え方とは全く逆で、余裕
のある時期は積極的に休むように
勧められました。

特に予定がなくとも休むことは一
見無駄な気がしますが、自分で上
手く時間を管理することが仕事に
も活かせると気づくことができました。

【従業員の声2】（パート）

勤務時間が5時間で残業もほと
んどないため、家事や趣味など時
間を有効に使えています。有給休
暇を利用し、月に1度単身赴任の
夫に会いに行けるのが嬉しいです。



プレミアムフライデー導入時のテレビ取材の様子



これからも ステークホルダーの 皆様と共に

お客様だけでなく社会全体から支持され、
未来に選ばれる事業所を
目指してまいります。

● お客様のために

私たちは、お客様に愛され、信頼される事業所であり続けたいと考えています。そのためには、お客様との良質なコミュニケーションが重要となります。『成果品の質』『従業員の質』『業務の質』という3つの『質』を高め、お客様の期待に応え、お客様満足へと繋げてまいります。

● 地域社会のために

私たちの仕事は、橋の設計を通じて、まちづくりに関わっています。『社会を良くする』ことを実践するために、地域社会と対話しながら、社会に貢献し、社会満足度を高めてまいります。将来的にはステークホルダーの皆様と一緒に本業の強みを生かして、社会課題を解決していきたいと考えています。

● 従業員のために

働きやすい職場環境づくりに継続して取り組んでいきます。またCSR活動を通じて、従業員と地域社会とのつながりを促すことで、従業員一人ひとりの成長を支援していきます。従業員満足度（ES）を高めることで、仕事への士気、生産性が高まり、お客様満足度（CS）の向上にもつなげてまいります。

お客様からの声を共有

成果品の質

従業員の質

業務の質

情報・思考・行動の
質を上げ、応用力を
身に付けることを強化

今の
やり方・ルールを
共通で把握

企業プロフィール



代表 杉山 宜央

社 名	杉山設計事務所
創 業	2008年7月
代 表 者	杉山 宜央 技術士（建設部門）、コンクリート診断士、1級土木施工管理技士 他
営 業 内 容	プレストレスト・コンクリート橋の計画・設計・照査・施工計画 CIM、3Dシュミレーション コンクリート構造物の温度応力解析
取 引 先	建設コンサルタント、建設会社
従業員数	6名

杉山設計事務所

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目11-25 アーク栄錦ニュービジネスビル3F
TEL 052-228-0813 FAX 052-228-0814 H.P. <http://www.s-pec.jp>

